

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 災害医療関係機関体制整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111 (内 2535)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,500千円（前年度予算額：4,500千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,500	0	0	0	0	0	0	0	4,500
要求額	4,500	0	0	0	0	0	0	0	4,500
決定額	4,500	0	0	0	0	0	0	0	4,500

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・県では大規模災害時に被災地に迅速に駆けつけ、医療活動を行う災害派遣医療チーム（DMAT）の整備を進めている。
- ・県医師会においても災害医療関係機関として災害時に担うべく役割（救護所への医師の派遣、日本医師会災害医療チーム（JMAT）の整備、災害医療コーディネーターとしての活動等）を果たすため、県医師会が中心となって行う各地域医師会の連携機能の強化や体制整備に向けた災害医療研修等の費用の補助を行う。
- ・また、平成26年9月に発生した御嶽山噴火災害や平成30年1月に発生した草津白根山噴火災害では、DMATが出動して救護活動を行っている。
- ・本県には御嶽山をはじめ、白山、焼岳、アカダナ山の5つの活火山があり、今後、本県で大規模な火山災害が発生した場合には、県医師会においても、地域医師会の医師やJMATを派遣するなど、DMATと連携して医療救護活動を行うこととなる。
- ・山岳地帯で医療救護活動を行う者は、登山に関する基礎知識や山岳という特殊な環境下での処置方法等を習得する必要があるが、県医師会では山岳

における災害・事故が発生した際の急性期医療、トリアージ、遺体検案等の幅広い役割を果たすことができる「山岳医療救護チーム」の育成に取り組んでいるため、県医師会が中心となって行う山岳医療に関する研修会や訓練に必要な費用の補助を行う。

(2) 事業内容

【補助対象機関】

県医師会

【補助対象及び補助率並びに補助限度額】

県医師会が実施する災害医療、山岳医療に関する研修・訓練に要する経費の10/10

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県の災害医療体制を強化するために災害医療関係機関として、ネットワークが大きく、果たす役割も大きい県及び地域医師会が行う災害医療研修等への補助事業であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

・無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	4,500	県医師会が行う災害医療研修等への補助
合計	4,500	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

- ・山岳医療に関する補助（研修・訓練）は、令和3年～令和5年の3年間。
- ・近年は全国で大規模災害が頻発しており、火山災害等に備えた山岳医療に精通した医師の養成が必要であることから、今後も継続して実施。
- ・大規模災害時にJMAT等が迅速・的確に活動するためには、継続した訓練や研修が必要であることから、各地域医師会の連携強化や体制整備に向けた災害医療研修や訓練等に関する補助は継続して実施。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 県医師会、地域医師会において大規模災害時においても医療の提供をできる体制を構築する。そのために必要となる研修会や訓練等を県内の各地域医師会を対象に実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
県医師会が行う災害医療研修等の回数	0回 (H24)	7回 (H29)	8回 (H30)	8回 (R01)	8回 (R02)	100%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 <令和元年度>
 災害医療 研修会 10/6、11/24
 協定検討会議 6/21
 山岳医療 検討委員会 5/9、6/13、7/11、9/5、2/13
 協議会 7/12、9/1 訓練・調査 5/25、9/15-16
 研修会 9/1、3/28

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 各地域医師会に対し、災害医療や JMAT、山岳医療等に関する研修会を開催することにより、各地域医師会の連携機能強化や体制整備を図ることができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	岐阜県の災害医療体制を強化するために災害医療関係機関として、ネットワークが大きく、果たす役割も大きい県及び地域医師会が行う災害医療研修等への補助事業であり、必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	計画的に各地域医師会に対する研修会を実施しており、各地域医師会の連携機能の強化や体制整備が図られている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	各地域医師会にとって有効な内容となるよう、県医師会が企画しており効果的な研修となっている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 各災害拠点病院、県内 DMAT、消防機関の他、当事業の補助対象者である医師会も含めて定期的な運用訓練を実施していく必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 大規模災害時に J M A T 等が迅速・的確に活動するためには、継続した訓練や研修が必要であるため、当事業を今後も継続していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	